



13 気候変動に 具体的な対策を



気候変動に具体的な 対策を取ることは なぜ大切か

目標の内容は何ですか。

気候変動とその影響に取り組むため、緊急の対策を取ることです。

なぜ、この目標が設定されたのですか。

人間の活動に起因する気候変動は、私たちの生活様式や地球の未来を脅かしています。私たちは気候変動に取り組むことにより、あらゆる人にとって持続可能な世界を構築できます。しかし、行動は今すぐ起こさなければなりません。

人間の暮らしは、本当に気候変動の影響を受けているのですか。

はい。異常気象や海水面の上昇は、先進国、途上国の人々と財産に影響しています。フィリピンの零細農家からロンドンのビジネスマンに至るまで、気候変動は貧困層や社会的弱者、さらには女性、子ども、高齢者といった社会の周辺に押しやられた人々を中心に、あらゆる人に影響を及ぼしているのです。

パリ協定により、
新興市場で気候
変動対策に対応
する投資として
23 兆米ドル
に相当するビジ
ネスチャンスが
生まれました。

私たちが何も対策を取らなければ、どうなりますか。

私たちが何も対策をとらなければ、どうなるのでしょうか。気候変動を放置すれば、地球の平均気温上昇は3°Cを超え、あらゆる生態系に悪影響が及ぶでしょう。私たちはすでに、気候変動が暴風雨や災害、さらには紛争の原因となりかねない食料不足や水不足などの脅威をさらに悪化させる様子を目の当たりにしています。

何もしなければ、私たちはすぐに対策を取った場合よりも多くのコストを被ることになります。私たちには、より多くの雇用、より大きな豊かさ、よりよい生活をすべての人にもたらしながら、温室効果ガス排出量を削減し、気候変動に対するレジリエンスを構築する行動を起こすチャンスがあります。

私たちはこの問題を解決できるのですか。それとも、もう手遅れなのですか。

私たちが気候変動に取り組めることは間違いありませんが、私たちの取り組みを大幅に拡大することは必要です。全世界で多くの動きが見られ、再生可能エネルギーへの投資も急増しています。しかし、取り組むべきことはさらに多くあります。世界はそのエネルギー、産業、輸送、食料、そして農林業のシステムを変革することで、地球の平均気温の上昇を2°Cよりもはるかに低く、そしてさらには1.5°Cに抑えられるようにしなければなりません。

2015年12月、世界はパリ協定を採択し、すべての国が気候変動への取り組みを約束することによって、大きな一歩を踏み出しました。多くの企業や投資家も排出量の削減を約束していますが、これは単に、そうすることが正しいことであるからだけでなく、経済面でもビジネス面でも適切なことだからでもあります。

問題の解決には、どれだけのコストがかかりますか。

官民のクリーン・エネルギーに対する投資総額は2030年までに、少なくとも年間1兆米ドルとする必要がありますが、気候変動に対するレジリエンスの構築には、さらに多くの投資が必要となります。これは膨大な額に見えるかもしれませんが、2016年の全世界のエネルギー供給に対する投資総額1兆7,000億ドルのうち、70%近くが化石燃料に関連するものであったことを考えてみてください。

しかし、政府と企業はますます、再生可能エネルギーと持続可能性への投資が利益を生むことを認識するようになってきました。

しかも、緩和費用の推計は、気候変動削減による恩恵を考慮に入れていません。その中には、きれいな空気や食料の安定確保、都市の生活環境改善、そして健康の増進が含まれています。今後

15年間で防災にわずか60億ドルの投資を行うだけで、投資期間中に回避できた損失という点で、3,600億ドルの利益が得られることとなります。今すぐに行動することで、私たちは人命を救い、資金を節約し、これまでに達成してきた前進の挫折を避けることができるのです。

この目標を達成するため、私には何ができるのですか。

私たちがひとりずつ、個人としてできることはたくさんあります。何ができるかについて詳しくは、こちらをご覧ください。

http://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/

国連の気候変動への取り組みについてさらに詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.un.org/en/climatechange/>

改訂版・日本語訳：国連広報センター
(2019年3月)



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD